

## バリデーション審査結果等の概要

平成 22 年 3 月 29 日  
気候変動対策認証センター

### (1) プロジェクトの概要

プロジェクト名	浜松市天竜区春野町堀之内での間伐促進型オフセット事業						
申請受理日	2009年10月6日						
プロジェクト代表事業者	(株)ログウェル日本						
プロジェクト事業者	(有)天竜フォレスター						
プロジェクト参加者	NPO雲を耕す会						
オフセット・クレジット (J-VER) 取得予定者	(株)ログウェル日本						
プロジェクト概要	三遠南信地域（愛知、静岡、長野 3 県境の山間地域）における間伐と間伐材利用を促進し循環型社会の実現を図るため、間伐による丸太生産からオフセットクレジット付き製材品の加工販売までを一貫して行いながら、間伐の収益事業化・産業化を目指す。 本事業は、間伐の実施により対象森林の健全性を確保するとともにCO <sub>2</sub> 吸収量を増大することを目的としている。						
プロジェクト期間	2008年4月1日～2013年3月31日						
クレジット期間	2008年4月1日～2013年3月31日						
想定吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO <sub>2</sub>	74.1	74.1	74.1	74.1	74.1	370.5
ポジティブリスト	No. R. 001						
方法論	JRAM 001（森林経営活動によるCO <sub>2</sub> 吸収量の増大（間伐促進型プロジェクト）に関する方法論）						

### (2) 審査結果

※審査内容におけるアルファベットは申請書、ローマ数字はモニタリングプランにおけるセクションをしている。

審査内容	バリデーションチームの審査結果
プロジェクト情報 (A・B)	申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトの申請書におけるプロジェクト情報が重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。
適格性要件 (C)	申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトの申請書における方法論の適用は実施規則及びポジティブリストに準拠しており、適格性要件を満たしていることを確認した。現地における実査を踏まえていないため、デスクレビュー及びインタビューによって判

	<p>明した範囲において、重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。</p> <p><b>条件1</b>：プロジェクト実施地が、森林法第5条又は第7条の2に定める森林であるかについては、森林法第5条に定める森林であることが申請者の説明より明確であり、妥当と判断される。</p> <p><b>条件2</b>：プロジェクト実施地において行われる施業が、以下の2つの条件を満たす間伐であり、妥当と判断される。</p> <p>□クレジット発行対象期間内に当該プロジェクト実施地の森林施業計画や森林認証における森林計画書において転用及び主伐が計画されていないことが明確に記述されている。</p> <p>□2007年4月1日以降に森林施業計画等に基づき施業（間伐）されたものであることが明確に記述されている。</p> <p><b>条件3</b>：プロジェクト実施地が、以下のとおり、持続的な森林経営の対象地であることが証明可能であり、妥当と判断される。</p> <p>□当該プロジェクトは、市町村等によって森林施業計画の認定を受けている。</p>
<p>排出量・吸収量算定（I・II）</p>	<p>モニタリングプラン、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトのモニタリングプランにおける排出量・吸収量算定は、方法論及びモニタリング方法ガイドラインに準拠していることを確認した。現地における実査を踏まえていないため、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。施業年と吸収算定年につき、J-VER制度モニタリングガイドラインI-7の考え方に沿った算式を採用しており、妥当と判断される。また、プロジェクト吸収量の算定にあたっては、モニタリングガイドライン準拠しており妥当と判断される。</p>
<p>モニタリング計画（III～VI）</p>	<p>モニタリングプラン、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトのモニタリングプランにおけるモニタリング計画は、方法論及びモニタリング方法ガイドラインに準拠していることを確認した。純吸収量で考慮する温室効果ガス排出・吸収活動、吸収量算定式、面積の測定、拡大係数、幹材積、容積密度、地上部に対する地下部の比率、地位級の選定、モニタリング体制・フロー、QA/QCについて妥当であると判断される。それ以外の点においては、現地における実査を踏まえていないものの、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲によって、重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。</p>
<p>その他の論点</p>	<p>現地における実査を踏まえていないものの、申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行い、関連する許認可及び関連法令等の遵守状況、環境影響評価及び環境測定、住民説明会の実施状況を確認した結果、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、当プロジェク</p>

	トの申請書におけるその他事項において重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。
認証運営委員会への推奨	オフセット・クレジット（J-VER）制度実施規則に基づいて実施された当バリデーションの範囲で、バリデーションプロセス及び手順を進めた結果、本プロジェクトは、ポジティブリストの適格性基準を満たし、方法論に照らした算定式が設定されており、適格性基準に整合していることが確認された。また、排出削減・吸収量の計算方法、モニタリング方法等については、ルールへの準拠性が確認され、当制度における重要性基準としての吸収量の10%以内という水準を確保していることを確認した。デスクレビュー及びインタビューにおいて判明した範囲において、本プロジェクトが、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認し、本プロジェクトに対しオフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会による登録を行うことを推奨する。

### (3) パブリックコメントの概要

該当箇所	ご意見
意見募集期間中にいただいたご意見はなかった。	

### (4) 認証運営委員会の結果

第12回オフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会（平成22年3月29日）においてプロジェクト登録が承認された。